

大麦の単収向上のポイントは、排水の良否です。水稻収穫後、速やかに排水溝を設置するなど、ほ場が乾くように努めましょう。また、播種量や播種深度、基肥量に留意し、適正な播種作業を行いましょう。

1. ほ場の準備

①排水対策

- ・稲の収穫後、速やかに額縁排水溝と7～8m間隔に基幹排水溝を設置してください。
- ・排水溝は掘り下げた排水口に確実につながしましょう。



秋の収穫後、速やかに排水溝を設置

②土壌 pH の改善

- ・土壌 pH が 6.0～6.5 となるよう、耕起前に石灰質資材(珪酸石灰：100kg/10a以上)を必ず施用してください。



排水溝を排水口に必ず連結

2. 播種

①種子消毒

薬剤名	消毒内容	使用方法
ベンレートT 水和剤 20	種子重量の 0.5%粉衣	種子 10kg に対して薬剤 50g と水 200ml を均一に混和

②耕起・畝立て・播種

- ・畝幅は3m以内とし、高畝にしましょう。
- ・溝は「幅30cm、深さ20cm以上」とし、排水口に必ず連結してください。
- ・耕起～播種、作溝の一連の作業は一日で行いましょう。
- ・降雨後は、溝の手直しを随時行い、ほ場内の停滞水を排除しましょう。
- ・ドリル播きの播種深さは、3～4cmにしましょう。

<播種時期ごとの播種量の目安>

播種時期	目標苗立数 (㎡当たり)	播種量の目安 (10a 当たり)	
		ドリル播	表面散播
9月下旬	140本	6.0kg	6.5kg
10月上旬	150本	6.5kg	7.0kg
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg

10/5播種 10/28(播種後23日目)



播種深度:適正(3~4cm)



播種深度:深播き(7cm)

播種深度が深いと①出芽苗立ちが遅れて不揃い
②湿害を受けやすい ⇒ 初期生育不足に!

<基肥量の目安>

施肥体系	肥料名	施用量(10a 当たり)
一発	エコ大麦44号	45kg
分施	化成肥料オール14	40kg

今年から一発肥料が変わりましたので、確実に基肥量が施用されるよう確認しましょう。

③除草剤 (ドリル播きの場合)

農薬名	散布量(10a 当たり)	散布時期	注意点
ゴーゴーサン細粒剤F	5～6kg	播種後出芽前 (雑草発生前)	表面散播のほ場には使用しないでください。
ゴーゴーサン乳剤	300～500ml (希釈水量70～150ℓ)		

